

全道大会配布物と注意事項

- ・地点確認提出用地形図 2種類
- ・記録書 2セット

★地点確認ポイントの記入のしかた

- ・地点確認提出用地形図に学校名等必要事項を記入。
- ・記入は 0.5mm 以下の黒色油性ボールペンで、登山道直行する線で示し、あわせてポイント名も記入する。間違ったときは、下記の記入例を参考に修正すること。



★記録書の書き方

- ・表紙の部分に学校名等必要事項を記入。記入は 0.5mm 以下の黒色油性ボールペンで。
- ・記載する地点名(10地点以内)

スタート地点(具体的な名称)+主要地点+休憩地点+ゴール地点(具体的な名称)

主要地点 2日目 「第2天女ヶ原」「姿見の池」「旭岳山頂」

3日目 「黒岳」「北鎮岳」「裾合分岐」

- ・記入要領と具体的な記入例

地点名	★日時の経過に沿って記載すること ★記載する地点 スタート地点+主要地点+休憩地点+ゴール地点	
到着時間	:	天気
通過時間	:	○
出発時間	:	
コースの概況・自然観察・メモ		
この欄には、この地点から次の地点までのコースの概況・自然観察等を記述する。		
「コース概況」とはコースの状況、見所、危険箇所や注意すべき点のうち、特筆すべき事柄を書く。		
「自然観察」については植生の全体像(落葉広葉樹林、草原など)あるいは代表的な種(優占種や目立つもの)、またその山・場所を特徴付ける種について記録する。		
天候の急変や不測の事態についてもこの欄に記載する。		
メンバ の体調	急変時を除いて通過地点の記入不要。チーム行動のチェックポイントでは必記入。隊行動、班行動時は停止時記入	

地点名	例) 十勝岳	
到着時間	11:00	天気
通過時間	:	○
出発時間	11:30	
コースの概況・自然観察・メモ		
・山頂は少し風があったが、風の当たらない場所で昼食を食べた。 ・旭岳やニベソツ山、トムラウシ山も見え、素晴らしい展望だった。 ・火山灰や火山れきの砂礫地の急斜面を慎重に下った。 ・左手にグラウンド火口、少し進むと右手にスリパチ火口が見えた。 ・62-II火口からの噴煙が多く、吸いこみに注意した。 ・昭和火口から十勝岳避難小屋までも砂礫地だったが登山道にメアカンキンバイが咲いていた。		
メンバ の体調	良好	

各登山行動終了後、指示により速やかに提出。